

# 埼玉県中学校進路指導・キャリア教育指導資料

— 進路指導の充実を目指して —

平成19年9月 埼玉県教育委員会

## はじめに

近年のニート・フリーター問題や、高等学校における中途退学者問題等を踏まえ、子どもたちに望ましい勤労観・職業観をはぐくみ、主体的に学ぼうとする学習意欲を向上させ、将来、社会人・職業人としての自立を目指すためのキャリア教育の推進が求められています。

そのキャリア教育の中核をなすのが、進路指導です。これまで中学校においては、生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもち、自分の意志と責任で主体的に進路を選択決定することができるよう、生徒理解に基づいた進路指導の充実を図ってきました。

そして、業者テストの偏差値等への過度の依存から脱却し、生徒一人一人の能力・適性、興味・関心や将来の希望等を踏まえた、「生き方指導」としての進路指導が定着してきております。

しかし、一方で、高校選択や可否の可能性についての進路相談を実施する際、中学校としての成績データなど進路指導のための資料不足を指摘する声もございました。また、生徒・保護者による主体的な進路選択を重視するあまり、教員が自ら高等学校等に出向き情報収集することの不足や、中学校と高等学校等との情報交換の不足などが指摘されておりました。

そこで、県教育委員会では、平成18年11月に「今後の進路指導・キャリア教育の充実について」通知し、キャリア教育の充実を図るとともに、高等学校等への進学に向けた進路相談の充実等をお願いいたしました。

こうした状況を踏まえ、今年度、中学校の校長、教諭等を委員とした「進路指導検討委員会」を立ち上げ、平成17年度作成の進路指導資料「進路指導Q&A・事例集」を見直して、進路指導の一層の改善・充実を図るための参考資料として本資料を作成いたしました。

是非、各中学校において、進路指導の資料として活用いただきますようお願いいたします。

本進路指導資料の作成に当たって、御多用の中、執筆していただいた作成委員の先生方に心から感謝申し上げます。

平成19年9月

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長

福地 満

# 目 次

|     |                                  |    |
|-----|----------------------------------|----|
| I   | キャリア教育の中核としての進路指導                |    |
| 1   | キャリア教育が求められる背景                   | 1  |
| 2   | キャリア教育の定義と意義                     | 1  |
| 3   | キャリア教育と進路指導                      | 2  |
| II  | 学校全体として進路指導・キャリア教育に取り組む校内体制（取組例） |    |
| 1   | 3年間を見通した全体計画・年間指導計画              | 3  |
| 2   | 校内組織とその役割の明確化                    | 6  |
| 3   | 分掌組織の活動の充実                       | 6  |
| 4   | 進路指導事務に係る事故を防ぐための組織体制            | 8  |
| III | 進路指導のための校内データの活用例                |    |
| 1   | 活用できるデータの例                       | 10 |
| 2   | データの蓄積方法の例                       | 10 |
| 3   | データの活用方法の例                       | 11 |
| 4   | データの扱い方の留意点                      | 12 |
| IV  | 多様な見方で進学先を考えさせる進路指導の実践例          |    |
| 1   | 各学年での学級活動の事例                     | 13 |
| 2   | 工夫を凝らした三者面談の事例                   | 21 |
| 3   | 学校便り、進路通信の事例                     | 27 |
| V   | 情報を収集するための実践例                    |    |
| 1   | 上級学校調査、高等学校体験入学から情報を得る事例         | 34 |
| 2   | 中学校に高等学校の先生を招いて情報を得る事例           | 35 |
| 3   | 高等学校在学中の子どもをもつ保護者から情報を得る事例       | 36 |
| 4   | 高校生（卒業生）から情報を得る事例（その1 3年生対象）     | 36 |
| 5   | 高校生（卒業生）から情報を得る事例（その2 1・2年生対象）   | 37 |
| 6   | その他の情報収集の事例                      | 38 |
| VI  | 中学校における進路指導についてのQ&A              |    |
| 1   | 進路相談等                            | 39 |
| 2   | 学校選択                             | 40 |
| 3   | 可否の可能性                           | 42 |
| 4   | 私立高等学校の入試相談                      | 43 |
| 5   | 塾との関係                            | 44 |
| 6   | 業者テストの取扱い                        | 45 |
| 7   | 公的テストの取扱い                        | 46 |
| 8   | 選抜方法                             | 47 |
| 9   | 情報収集、不登校生徒、その他                   | 50 |

# I キャリア教育の中核としての進路指導

## 1 キャリア教育が求められる背景

近年、社会・経済・産業の構造的変化や雇用の多様化・流動化等を背景として、将来への不透明さが増すとともに、子どもたちの進路をめぐる環境が大きく変化している。若者の就職状況は、景気の動向や雇用の流動化などの影響を受けやすく不安定な状況にある。また、将来の生活や、社会人・職業人としての生き方に関する展望が持ちにくくなっており、昨今、若者の就職をめぐる様々な問題が指摘されている。

若者自身の資質等をめぐる課題として、働くことへの関心、意欲、態度、目的意識等、広い意味での勤労観、職業観の未熟さやコミュニケーション能力、マナー等、職業人としての基礎的資質・能力の低下が指摘されている。

また、子どもたちの成長・発達上の課題として、身体的な早熟傾向に比して、精神的・社会的自立が遅れる傾向にあることや生産活動や社会性等に未熟さが見られるなど、発達上の課題が一層顕著になっていることが指摘されている。

さらに、少子化や経済的ゆとりの増大、高学歴志向等を背景として、短大、大学、大学院や専門学校等への進学率が著しく上昇しており、若者が職業について考えたり選択・決定したりすることを先送りするモラトリアム傾向が強くなっている。就職への意識がなく、とりあえず進学しようとする若者もあり、無業者やフリーターが増加し、一方、就職しても早期に離転職する者も増えている。

このような状況の下、学校教育においてキャリア教育の推進が叫ばれている。

## 2 キャリア教育の定義と意義

「キャリア」の解釈・意味付けは、様々であるが、文部科学省が平成14年から16年にかけて設置した「キャリア教育に関する総合的調査研究協力者会議」の報告書では、「キャリア」を「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」としてとらえている。また、「キャリア」は「個人」と「働くこと」との関係の上に成立する概念であり、個人から独立して存在し得ないとしている。「働くこと」については、今日、職業生活以外にも、ボランティアや趣味などの多様な活動があることなどから、個人がその職業生活、家庭生活、市民生活等の全生活の中で経験する様々な立場や役割を遂行する活動として、幅広くとらえる必要があるとしている。さらに、「キャリア教育」は、「キャリア」概念に基づき「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」ととらえ、端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」としている。

このようにキャリア教育を定義した上で、「職業観・勤労観をはぐくむ学習プログラムの枠組み(例)」の中で、小・中・高等学校の各発達段階におけるキャリア発達課題を示すとともに、それを達成するために育成すべき4つの能力「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」を具体的な能力としている。

報告書(前掲)では、キャリア教育の意義について以下のようにまとめている。

### (1) 教育改革の理念と方向性を示すキャリア教育

学校には、あらゆる教育活動を通して、子どもたちが自らの生き方を主体的に選択・決定し、よりよく生きていこうとする意欲・態度や能力を育て、社会で自立・共生しながら生きていける

ようにすることが求められている。キャリア教育を推進する上で重視すべきは、キャリア教育が、一人一人のキャリア発達や個としての自立を促す視点から、従来の教育の在り方を幅広く見直し、改革していくための理念と方向性を示すものであるということである。

#### (2) 子どもたちの「発達」を支援するキャリア教育

キャリアが子どもたちの発達段階やその発達課題の達成と深くかかわりながら段階を追って発達していくことを踏まえ、子どもたちの全人的な成長・発達を支援する視点に立った取組を積極的に進めていくところにその意義がある。

#### (3) 教育課程の改善を促すキャリア教育

子どもたちのキャリア発達を支援する観点に立って、各領域の関連する諸活動を体系化し計画的、組織的に実施することができるよう、各学校が教育課程編成の在り方を見直していく必要がある。

### 3 キャリア教育と進路指導

これらのキャリア教育の意義を踏まえ進路指導では、生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自らの意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身に付けることができるよう、指導・援助することが大切である。

定義・概念としては、キャリア教育と進路指導との間に大きな差異は見られず、進路指導の取組は、キャリア教育の中核をなすといえることができる。

指導に当たっては、ガイダンス機能の充実を図るとともに、日ごろの学習指導、生徒指導、教育相談を通して、生徒の能力・適性、興味・関心や将来の進路希望等を的確に把握し、確かな生徒理解に基づき、一人一人の個性の伸長を図り、望ましい勤労観・職業観を育成することが大切になる。

また、教育活動全体を通して、計画的・組織的かつ系統的に実施し、さらに、生き方指導としての進路指導の在り方及びキャリア教育の意義を踏まえ、3年間を見通して継続的に指導・援助することが重要である。

指導する際は、生徒が自分のよさや得意分野を理解すること、能力・適性、価値観等についての基本的・総合的理解を得ること、働くことの厳しさや喜びを体得しながら、職業の世界についての理解を深めることなどができるよう配慮しながら進めることが大切である。

進路情報を幅広く収集し、生徒への単なる知識の伝達に陥らないように、その活用方法を工夫して、生徒一人一人が自らの能力や適性などを十分把握し、将来の夢や希望を抱き、自己の進路を適切に選択し決定できるよう情報を活用することが求められる。

また、進路指導・キャリア教育の推進に際しては、家庭や地域社会、地域の企業、関係機関等の協力が得られるよう日頃からの連携が大切になる。

#### <参考文献>

「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議報告書」(平成16年1月28日)

( [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/023/toushin/04012801/002.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/023/toushin/04012801/002.htm) )

## II 学校全体として進路指導・キャリア教育に取り組む校内体制（取組例）

進路指導・キャリア教育を進める上で生徒、保護者への的確な進路情報の提供も大切である。そのためには、学校全体で進路指導・キャリア教育の全体計画・年間指導計画のもとで取り組み、全教員への最新、かつ正確な進路情報の周知徹底を図るとともに共通理解を図ることが必要である。

以下は、通知、通達、事務連絡等の進路情報を校内の全教員へ周知徹底するために、計画的・組織的に進めている取組例である。

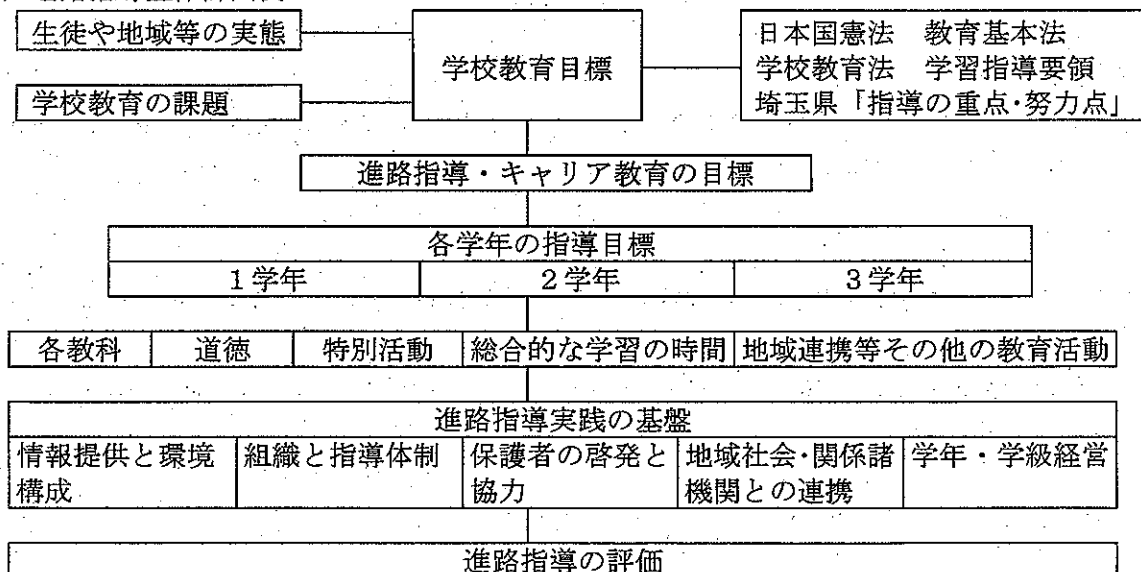
### 1 3年間を見通した全体計画・年間指導計画

進路指導の取組はキャリア教育の中核とされている。進路指導において、キャリア教育の4領域（人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力）8能力（自他の理解能力、コミュニケーション能力、情報収集・探索能力、職業理解能力、役割把握・認識能力、計画実行能力、選択能力、課題解決能力）の考えを踏まえることで、全教育活動にわたる多様な活動の展開ができる。そこで、従来の進路指導全体計画・年間指導計画をキャリア教育の視点で見直すことが重要となる。

#### (1) 計画作成のポイント

- ① 学校の全体計画を基に、学校や生徒の実態、状況に応じ、3年間を見通した進路指導・キャリア教育のねらいを明確にする。その際、学校教育目標や目指す生徒像の育成に向け位置付ける。
- ② 文部科学省「キャリア教育の推進に関する総合的調査研究協力者会議～児童・生徒一人一人の勤労観・職業観を育てるために～」に示された学習プログラムの骨組みを基に、キャリア教育を通して各学年ではぐくみたい諸能力を設定する。
- ③ 教育課程の編成にあたり、キャリア教育の観点から教育活動の整理・見直しを行い、指導内容を挙げ、方向性を示す。
- ④ 実践上の配慮事項や指導上の留意事項等をキャリア教育を推進していくための基盤として押さえる。

#### (2) 進路指導全体計画例



(3) 進路指導・キャリア教育全体計画例

平成19年度 ○○市立○○中学校 進路指導・キャリア教育全体計画  
学校教育目標

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>○○中学校の進路指導上の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生徒の進路に対する目的意識を明確にし、自ら進路選択させる。</li> <li>2 啓発的な体験を通し、自分の進路選択に幅をもたせる。</li> <li>3 3年間を見通し、段階的・計画的に進路指導をする。</li> <li>4 全教師の共通理解に基づき、指導していく。</li> </ol> | <p>『地に立ちて夢遙か』</p> <p>◎希望を持って生きる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き生きと学ぶ生徒の育成</li> <li>・思いやりのある生徒の育成</li> <li>・心身ともに逞しい生徒の育成</li> </ul> | <p>学校教育における関係目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国家及び社会の形成者としての必要な資質を養う。</li> <li>2 社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する態度を養う。等</li> </ol> |
|--|---|--|

|  |
|--|
| <p>○○中学校進路指導の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する態度を養う。</li> <li>2 生徒自らが、個性や能力、適正に応じた進路選択ができるよう指導、援助する。</li> <li>3 教育活動全体を通して、発達段階に応じた進路指導を、計画的、組織的、継続的に行なう。</li> </ol> |
|--|

| 4領域      | 領域説明  | 能力と能力説明   | 職業的(進路)発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度 |                                   |                                  |
|----------|---|---|--------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
|          |   |   | 1年                                   | 2年                                | 3年                               |
| 人間関係形成能力 | 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々なコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む。  | 【自他の理解能力】<br>自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力。<br>【コミュニケーション能力】<br>多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力。                    | 自他の良さや個性を知り、更にはばすことができる。             | 自他の良さや個性等を理解し、互いに尊重し合い、自分を正しく伝える。 | 自他の役割や責任等を自覚し、自己理解をより深める。        |
| 情報活用能力   | 学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択を生かす。 | 【情報収集・探索能力】<br>進路や職業に関する様々な情報収集や探索をするとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の生き方を考えていく能力。<br>【職業理解能力】<br>様々な体験等を通して、学校での学習との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力。                  | 進路や職業に関する様々な情報を収集・探索する。              | 進路や職業に関する必要な情報を選択・活用する。           | 進路や職業に関する情報を活用し、自己の進路や生き方を考えていく。 |
| 将来設計能力   | 夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の実現を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。       | 【役割把握・認識能力】<br>生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力。<br>【計画実行能力】<br>目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路行動等で行っていく能力。                      | 集団の中で、自分の役割を理解し、果たそうとする。             | 日常の生活や学習と将来の生き方との関連を理解する。         | 様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。   |
| 意思決定能力   | 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程で課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。      | 【選択能力】<br>様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力。<br>【課題解決能力】<br>意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に対応するとともに、希望するしるろの実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力。 | 自分のすべきことを理解し、責任をもってその役割を果たす。         | 選択することは、その過程や結果等に責任が伴うことを理解する。    | 自分の考えと責任で判断し、自らの意思で決定、実行していく。    |

| 各学年の指導目標  |  |  |
|---|--|--|
| <p>&lt;第1学年&gt;<br/>新しい中学校生活への適応を図り、自己理解に努め、将来の進路について真剣に考えようとする態度を養う。</p> | <p>&lt;第2学年&gt;<br/>進路についての理解を深め、自己の適性を知り、自己実現をめざす見通しをもった進路計画を各自に持たせる。</p> | <p>&lt;第3学年&gt;<br/>自己実現のために、自己の進路を適確に判断できる力を身につけさせる。多様な進路選択がおこなえるように、社会人として必要な基礎・基本の充実に努める。</p> |

| 各教科   | 道徳   | 総合的な学習の時間   | 特別活動   | その他の教育活動  |
|---|--|---|--|---|
| 各教科を通して、自己の興味・関心・適性・能力について知り、将来の進路選択を計画的に進める力を養う。将来の生活において自己を正しく理解し、社会に貢献する能力を育てる。社会に必要な職業技能の修得を図る。 | 職業観、勉学観、人生観についての指導を3年間計画的に進める。<br>進路指導の結果を得た道徳的な成果を内面的な自覚まで導き、さらに現実の生活に生かす。<br>進路に関する目的や目標のある生活の理想と現実、計画的な生活の大切さを知る。等々 | 全校又は学年単位とし、所定集団への所属感を深め、体験活動とともに自ら運営していき、態度を養う。<br>文化、体育、福祉活動、活動多々をさせる。 | 生徒一人一人が、自己の個性や能力・適性について理解を深め、自己の将来の生き方について探求し、社会的な自己実現を目指す進路学習を進める。<br>適切な進路選択能力を高める指導を行う。 | 生徒の自主的、実践的な活動を通して自己の能力・適性について理解を深めさせる。<br>関連行事<br>修学旅行<br>スキー教室<br>運動祭<br>文化祭<br>全校朝会<br>入学式<br>卒業式<br>進路・教育相談<br>自分の特性を知るとともに、自分の生活目標や進路設計を真剣に考え努力することを目指す。<br>自己の分析を深め、個性を伸ばすにはどうしたらよいかに気づかせ、自分を生かせる進路について考えられるように支援していく。<br>進路についての悩みを克服し、自分で進路を決定し自信を持って生活できるように支援していく。<br>相談場面<br>二者相談、三者相談、チャンス相談 |

| 進路指導の基盤   |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|
| <p>1. 情報提供、環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報内容の充実を図る。上級学校、就職に必要な情報、職業観、勉学観育成に必要な情報、進路学習室の充実</li> <li>学級での掲示(進路コーナー)</li> </ul> | <p>2. 組織と指導体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導委員会を設置する。進路指導の基本方針の検討、目標の設定、進路行事の計画、関係機関との連携(保、顧、職、職、職、職、職)</li> <li>進路指導委員会の下に進路指導推進部を置く。全体計画の原案作成、具体的な運営計画と実践、年間指導計画の作成とその検討(進路指導部、学年の進路指導部)</li> </ul> | <p>3. 保護者の啓発と協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と直接あるいは間接的に連絡を密にし、互いの信頼関係を基盤に協力して生徒の自己実現がスムーズに図れるようにする。授業参観、進路学習会、学校だより、三者相談、進路だより、学年通信、各学校行事など</li> </ul> | <p>4. 地域社会関係諸機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中の連絡を大切にす。</li> <li>上級学校、職業安定所と定期的な情報交換・打ち合わせを行う。</li> <li>他の中学校との情報交換、協同研修を行う。</li> <li>地域の方のお話を聞く。(ふれあい講演会など)</li> </ul> | <p>5. 学年、学級経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横の連携を密にし、啓発的経験を重視した経営を心がける。</li> <li>職業調査、上級学校訪問、職場体験学習など</li> <li>生徒の自己決定力が高まるような学級、学年活動を行わせる。</li> <li>生活ノート等で個別に支援する。</li> </ul> |

進路指導の評価 | ポートフォリオを活用し、生徒の変容を見る。

(4) 進路指導・キャリア教育年間指導計画例

平成19年度 〇〇市立〇〇中学校 進路指導・キャリア教育年間指導計画

1 将来に対する夢や希望を持ち、目標に向かって努力する態度を養う。  
 2 生徒自らが、個性や能力、適正に合わせた進路選択ができるよう指導、援助する。  
 3 教育活動全体を通して、発達段階に応じた進路指導を、計画的、継続的に行なう。

| 月  | 学校行事   | 1年学級活動  | 2年学級活動  | 3年学級活動   | 進路情報   | 優秀な体験学習                                      | 進路相談                                   | 教材・運営                              | 総合的な学習の時間   | 家庭・地域   | 教師の指導                                |
|----|--|---|---|--|--|--|--|------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 4  | 入学式・始業式<br>地位測定<br>保護者会<br>オリエンテーション<br>進路ガイダンス<br>新任式 | 中学校生活の出発<br>私たちの学校<br>中学校生がガイダンス<br>中学校の学習と将来の生き方<br>今年で学ぶのだから<br>・学習の目標と心がまえ | 自分らしく生きる<br>将来の生き方と学習<br>・なぜ、人は働くのだろうか<br>・なぜ、人は学ぶのだろうか<br>・自分の学び方を考えよう | 最上級生としての生活<br>1年間の振り返り<br>・1年間の学習計画を振り返る<br>・充実した学生生活を振り返る                 | 学級ガイダンス<br>年間計画<br>学年計画<br>進路講座<br>卒業生の進路状況          | 入学式<br>有志部オリエンテーション<br>保護者会<br>委員会活動         | 進路相談<br>新年賀の生活<br>保護者会<br>新年夜のスターにあたって | 楽しい生活管理<br>授業準備の確立<br>各教科における生き方指導 | 総合的な学習の時間<br>総合的な学習ガイダンス<br>スキル学習①<br>(話し言葉で表現するスキル)<br>地域の課題解決学習②③ | 保護者会<br>学校だより<br>学年だより<br>学級だより<br>進路だより<br>PTA総会 | 進路指導体制の確立<br>年間指導計画の確立<br>ガイダンス機軸の充実 |
| 5  | 中間テスト<br>運動会<br>運動祭<br>田植え<br>部活動披露大会                  | 運動祭の振り返り<br>中学校の学習と将来の生き方<br>・夢や希望をまとめてみよう<br>・夢や希望をまとめてみよう                   | 運動祭の振り返り<br>将来の生き方と学習<br>・自分の学び方を振り返ろう                                  | 運動祭の振り返り<br>希望の実現に向けて<br>・学習方法を改善しよう<br>・効果的な1日の学習計画を立てよう                  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 運動会<br>田植え                                   | 二学期相談<br>学習・生活について                     | 集団生活の向上<br>礼儀、公平・公正                | スキル学習①<br>(図書などを活用するスキル)<br>地域の課題解決学習②③                             | 田植え(講師の依頼)<br>部活動披露大会<br>行事への協力                   | 家庭環境の調査<br>修学旅行の準備②<br>進路希望調査③       |
| 6  | 修学旅行②<br>学校総会<br>進路学習会②                                | 働く人々の学ぶ<br>働く人々の仕事と目的<br>働く人々の働きを知る<br>働く人々の働きを知る                             | 働く人々の学ぶ<br>働く人々の仕事と目的<br>働く人々の働きを知る<br>働く人々の働きを知る                       | 修学旅行に向けて<br>修学旅行の準備<br>進路を振り返ろう<br>・自分の進路について考えよう                          | インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用 | 修学旅行②<br>学校総会<br>進路学習会②                      | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 入習願/思いやり<br>挨拶と規律                  | スキル学習①<br>(レポート等の文章表現のスキル)<br>地域の課題解決学習②③                           | 進路学習会<br>修学旅行説明会                                  | 修学旅行②<br>進路希望調査③                     |
| 7  | 期末テスト<br>保護者会②<br>保護者会②<br>修学旅行①<br>三者相談③              | 働く人々に学ぶ<br>働くことと生きがい<br>働くことと生きがい   | 自分について考える<br>自分らしさを生かそう<br>・人間関係を大切に<br>・職場体験学習の計画<br>満足に向けて            | 進路を振り返ろう<br>・自分を振り返ろう<br>・自分を振り返ろう<br>・自分を振り返ろう                            | インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用 | 進路学習会<br>修学旅行②<br>学校総会<br>進路学習会②             | 家庭訪問①<br>三者相談③                         | 制学と進学<br>生きることの喜び                  | スキル学習①<br>(プレゼンテーションスキル)<br>地域の課題解決学習②③                             | 保護者会②<br>家庭訪問①<br>三者相談③<br>PTA総会                  | 進路希望調査③<br>進路希望調査③                   |
| 8  | 進路講座<br>文化祭<br>新人体育大会                                  | 二学期の目標<br>自分や不安の解決に向けて<br>自分の長所と短所<br>こんな時、どうする                               | 二学期の目標<br>職場体験学習の準備<br>職場体験学習の準備  | 二学期の目標<br>学び続ける姿勢<br>自分に合った進路先を探そう<br>・自分の個性をもう一度見つめよう<br>・自分の個性をもう一度見つめよう | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路講座<br>文化祭<br>新人体育大会                        | 進路相談<br>新学期的生活について                     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 9  | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談           | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 10 | 中間テスト<br>進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談  | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 11 | 期末テスト<br>三者相談<br>三者相談                                  | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 12 | 期末テスト<br>三者相談③<br>保護者会<br>終業式                          | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 1  | 始業式  | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |
| 2  | 期末テスト<br>スキル学習①<br>修学旅行(科学体験)②<br>全校大会<br>卒業式          | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所   | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所                                     | 自分の生き方と進路計画<br>自分の長所と短所<br>自分の長所と短所  | 進路講座<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用<br>インターネットの活用       | 進路学習会②<br>進路学習会<br>進路学習会②<br>ふれあい講演会<br>三者相談 | 進路学習会の準備④<br>進路学習の理解<br>生活面・進路について     | 社会への参加<br>かげえのない生命の尊厳              | 自分の夢・仕事①<br>生き方について考えよう②③   | 行事への協力  | 職場体験学習準備①                            |



## 2 校内組織とその役割の明確化

- 教員への進路情報の周知徹底を図るために、進路指導・キャリア教育に係る組織の構成員と役割を明確にする。
- 校内組織は、校長、教頭、進路指導主事、主幹、教務主任、各学年進路担当、(学年主任を加えることもある)を構成員とした進路指導・キャリア教育委員会が核となる。
- 進路指導・キャリア教育委員会のもとに、調査書等作成委員会、進路検討委員会など必要な組織を設ける。

### (1) 進路指導・キャリア教育委員会の下部組織と構成員

- ア 調査書等作成委員会…進路指導・キャリア教育委員会構成員＋3学年担当者
- イ 進路検討委員会(進路先の確認)…進路指導・キャリア教育委員会構成員＋3学年担当者＋不登校生徒対応の教育相談主任又は養護教諭

### (2) 各委員会の役割

#### ア 進路指導・キャリア教育委員会

- ① 進路指導・キャリア教育全体計画、年間活動計画の作成、実施を行う。
- ② 学校内外の進路指導上の行事等の企画、運営の検討及び連絡調整を行う。

#### イ 調査書等作成委員会

- ① 埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項の確認と教員への周知を行う。
- ② 調査書記入の内容の確認を行う。

#### ウ 進路検討委員会(進路先の確認)

- ① 3学年の全生徒が自らの意志と責任において選択・決定した進路先を、全委員でその生徒の興味・関心、能力・適性や家庭状況など多面的に検討し、生徒、保護者に希望した進路先についての的確な助言を行う。

## 3 分掌組織の活動の充実

進路指導・キャリア教育に関する分掌組織はあるが、あまり機能していない場合がある。これは活動する時期が年度当初に計画されていなかったり、各組織の役割が明確でなかったりする事が多い。

前述の各委員会の開催を次のように年間計画に位置付け、各委員会の会議後は必ず職員会議で報告する。

また、進路指導に関する行事後にも計画・実施・評価のアンケートを実施し、結果を職員会議で報告、次年度の計画作成の資料とする。

進路指導に関する会議の計画とその内容は次のとおりである。

### ◇◇ 年間指導計画例 ◇◇

#### 第1回進路指導・キャリア教育委員会(4月当初)

- 進路指導全体計画、年間活動計画の検討、確認
- 学校内外の進路指導上の行事企画の分担等検討

#### 第2回進路指導・キャリア教育委員会(5月)

- 学校内外の進路指導上の行事企画の分担等検討
- 「5日間の職場体験」実施計画の確認(7, 8月実施のとき)

教員研修及び保護者への啓発（6、7月）

- 評価規準と評定等に関する研修
- 学校だよりで評価について解説

第3回進路指導・キャリア教育委員会（6月）

- 「ふれあい講演会」実施計画の検討（10月実施のとき）

埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項等説明会（9月中旬）

第1回調査書等作成委員会（9月下旬）

- 埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項等説明会の報告と質疑（説明会后、1週間以内で開催）

第2回調査書等作成委員会（10月）

- 調査書記述の基準の検討

第4回進路指導・キャリア教育委員会（10月）

- 三者面談での進路相談の進め方の確認、その後校内研修等で全職員の共通理解を図る

第1回進路検討委員会（進学先の確認）（12月）

- 在籍する3年生全員の進路希望の確認、検討

保護者への通知（12、1月）

- 「成績及び諸活動等の記録通知書」を作成し、受検生の保護者に通知する。

第5回進路指導・キャリア教育委員会（2月）

- 今年度の計画に基づく活動の反省と次年度の計画作成

◇◇ 留意点 ◇◇

- 県教育委員会から、重要な通知、事務連絡などを収受した場合、内容によって「回覧」又は「職員会議での報告」を行う。
- 進路指導に関する行事や諸事務の日程は、職員会議等で、3学年担当だけではなく、全教員へ周知し、生徒や保護者からの問い合わせに全員が対応できるようにする。
- 4月にシラバスを配布し、生徒、保護者に学習予定、評価について解説するとともに1学期中間テスト後にも保護者には学校だよりや保護者会を活用して評価について説明する。
- 1学期できる限り早い時期に評価に関する教員研修や教科部会で評価規準の確認をし、生徒、保護者に対して統一した見解を述べられるようにする。
- 全教員が見通しをもって教育活動を展開できるように、会議予定日とその内容を早めに明確にする。また、会議の協議内容報告や行事等の前後の職員会議、研修会を主とした最新情報の「報告・連絡・相談」の徹底を図る。

#### 4 進路指導事務に係る事故を防ぐための組織体制

進路指導事務は生徒一人一人が選択した進路を現実のものにするための手続きであり厳正に行われなくてはならない。特に高校入学者選抜等に伴う調査書の作成においては多くの職員が関わる。そのため進路指導事務の事故防止に向けて、作成に関わる全職員に適正な事務の執行を徹底するとともに、組織として点検・確認・作成する仕組みを整えておかなければならない。

また、通知書によって、予め調査書の記載内容が本人および保護者に通知されるようになった。このため、通知表との整合性を十分に配慮しながら作成する必要がある。

さらに近年ではコンピュータを活用して調査書を作成する学校が増えている。コンピュータの活用は非常に便利な反面、情報の取扱や管理の方法を誤ると大きな事故につながる可能性がある。情報の取扱と管理に関する校内の内規を、調査書作成に関わる全職員に周知し、個人情報の自宅持ち帰りを禁止するなど厳守させていくことが重要である。

##### (1) 進路事務事故防止チェックリスト (例)

###### 【全般について】

- 調査書は埼玉県教育委員会の示す「埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づいて作成されているか。
- 調査書作成は校長の責任のもと、調査書作成委員会で点検、確認、作成の仕組みが整えられているか。また機能しているか。
- 調査書への公印押印は校長の責任のもと、適正に行われているか。
- 進路指導事務が適正に行われるよう、進路情報を、生徒、保護者に周知しているか。

###### 【評定について】

- 評価に関しては評価規準を明確にし、学校として統一した見解で対応できているか。
- 通知表との整合性は図られているか。

###### 【コンピュータの活用について】

- 進路事務に関する情報の管理責任者が明確になっているか。
- 進路事務に関する情報の取扱・管理の校内内規が規定され、また周知徹底されているか。個人情報の持ち帰り等を禁止し遵守させているか。

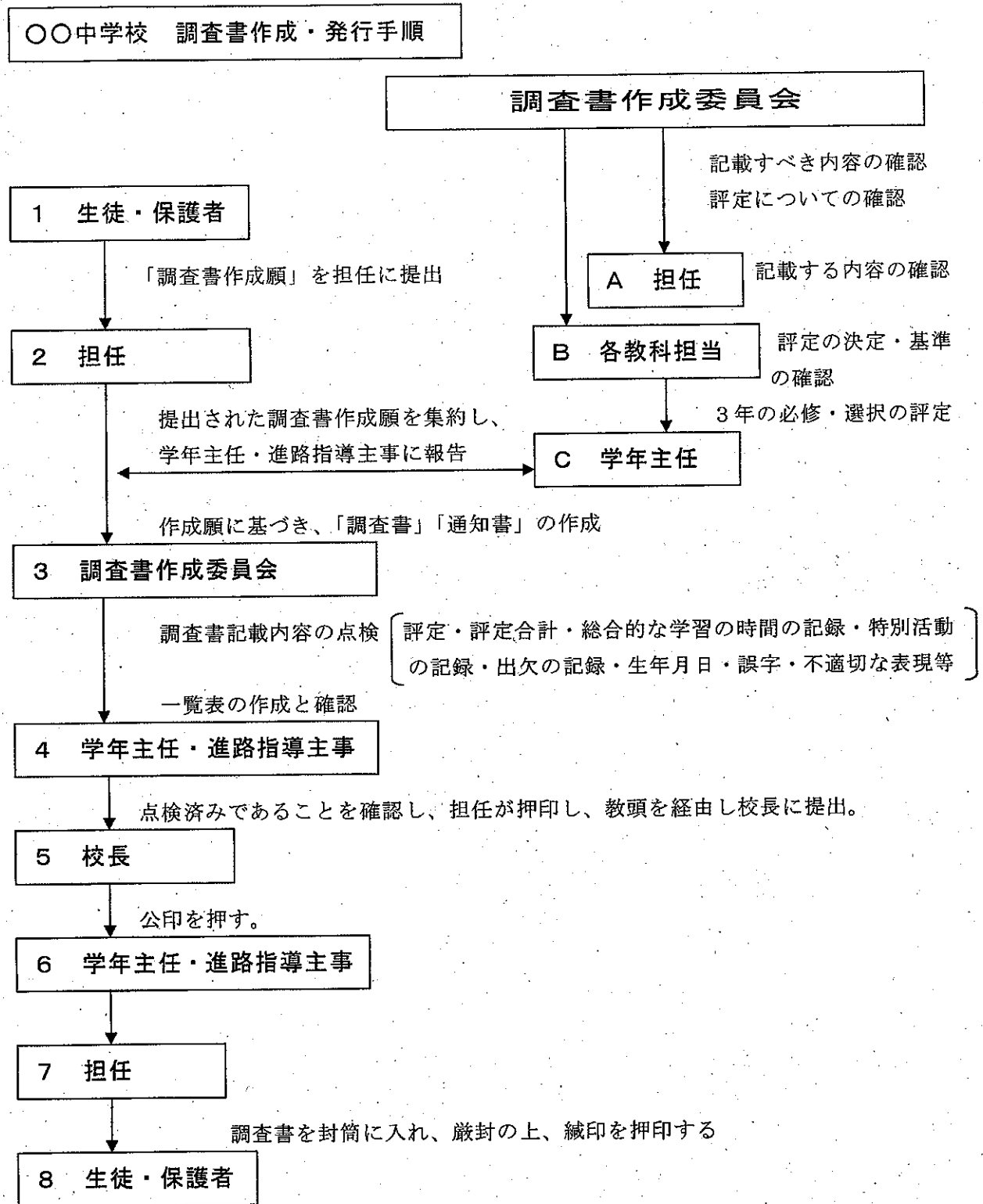
##### (2) 調査書作成と発行の手順の例

調査書作成の点検・確認・作成の手順をマニュアル化し、これを徹底することにより事故防止に取り組むことも重要である(資料)。例えば、これを10月の第2回調査書等作成委員会で周知徹底をする。なお、この第2回調査書等作成委員会には3学年の授業を担当している職員も全員参加し、評定等についての確認を行う。

##### (3) コンピュータの活用の留意点・その他

調査書を作成した際のデータは、情報の漏洩がないように、管理者が厳重に保管する。また、調査書作成に表計算ソフトを利用して一括管理する場合、データの入力や変更後に上書き保存をすると、そのときミスが発生すると全体に影響してしまうことになる。担任任せにすることなく、必ず複数の目で確認するようにする。

資料



担任より調査書を受け取り、出願する。

### Ⅲ 進路指導のための校内データの活用例

生徒の進路選択は、中学校3年間における進路学習、生徒自身の能力・適性や興味・関心、さらには将来の希望等に基づき、また、進学しようとする学校・学科等の内容や特色を十分理解した上で、総合的に判断し決定されなくてはならない。

そのためには、様々な学習活動や体験活動等における成果、校内テストのデータや公的テストが実施される場合はそのデータなどを一つに集約して保管し、必要に応じていつでも進路指導に活用できるようにしておくことが必要である。

また、個人のデータの蓄積にとどまらず、特に高校入試についての学校としてのデータを収集・分析して、進路指導のための客観的な資料として活用できるようにする。これにより、生徒や保護者の期待に応えることのできる進路指導、進路相談を行うことができる。

以下に、進路指導のための校内データの活用例等をあげる。

#### 1 活用できるデータの例

##### (1) 教科等の学習の記録に関わる内容（生徒個人の記録）

- 各教科の学習の記録
- 選択教科の学習の記録
- 総合的な学習の時間の学習の記録
- 特別活動・道徳等の学習の記録
- 出欠等の記録
- 表彰、その他の記録

##### (2) 進路学習に関わる内容（生徒個人の記録、全体の活動の記録）

- 職業調査や職場体験学習等をしたときの学習内容
- 上級学校調査や高等学校訪問等をしたときの学習内容
- 自己理解などについての学習内容

##### (3) 校内で集計した資料に関わる内容（学年・学校としての記録）

- 評定に関するデータ
- 学力検査等の得点に関するデータ
- 自校の過去の進路指導に活用したデータ

##### (4) 市町村等による公的テストが実施される場合、そのデータ

#### 2 データの蓄積方法の例

##### (1) 教科等の学習の記録に関わる内容（生徒個人の記録）

- 指導要録はもとより通知表に記載されている内容を記録し活用できるようにする。

##### (2) 進路学習に関わる内容（生徒個人の記録、全体の活動の記録）

- ファイルを用意し、進路学習や体験活動等で用いたプリントや資料等を綴じておき、3年間いつでも必要なときに活用できるよう保管しておく。

##### (3) 校内で集計した資料に関わる内容（学年・学校としての記録）

- 卒業生の調査書内容（評定合計・特活の記録等）、校内学力テストの得点や公的テストが実施される場合はその得点とその生徒の進学先を関連付け、評定と合否の関係を明らかにし、各高等学校の合格ラインを予想するデータとする。ただし個人のデータを扱うため、十分配慮するとともに情報が漏洩しないようデータの取扱いについては、十分気を付ける。
- 総合問題や学力検査の自己採点により、学力検査等の得点をできる範囲で明らかにし、それと生徒の合否を関連付けて、各高等学校の合格ラインを予想するデータとする。

### 3 データの活用方法の例

(1) 生徒の校内テストなどのデータを、志願先学校別一覧表にまとめた例

生徒一人一人の1年から3年までの評定合計や3年での校内テスト等の得点、また受検希望校の選抜方法等の情報も一緒に盛り込んで、進路相談などで必要な情報がすぐ提供できるようにするとともに合否の可能性を判断する資料とする。

| 学校名 | 学科<br>コース | No | 組番   | 生徒氏名  | 評定 |    |    | 選択<br>評定 | 校内テスト |     |     |       | 前期募集<br>1:1:2 | 合否  | 後期募集<br>1:1:1 | 合否 | 併願校         |
|-----|-----------|----|------|-------|----|----|----|----------|-------|-----|-----|-------|---------------|-----|---------------|----|-------------|
|     |           |    |      |       | 1年 | 2年 | 3年 |          | 1回    | 2回  | 3回  | 平均    |               |     |               |    |             |
| 〇〇〇 | 普通科       | 1  | 3101 | ●● ●● | 37 | 35 | 38 | 7        | 143   | 140 | 158 | 147   | 186           |     | 110           |    | □□高校(学校推薦)  |
|     |           | 2  | 3318 | ▲▲ ▲▲ | 26 | 24 | 23 | 3        | 88    | 89  | 81  | 86    | 119           |     | 73            |    | ××高校(保護者推薦) |
|     |           | 3  |      |       |    |    |    |          |       |     |     |       |               |     |               |    |             |
|     |           | 4  |      |       |    |    |    |          |       |     |     |       |               |     |               |    |             |
|     |           | 5  |      |       |    |    |    |          |       |     |     |       |               |     |               |    |             |
|     |           |    |      |       |    |    |    |          |       |     |     | 地 総 評 |               | 7:3 |               |    |             |

(2) 学習の記録のデータと受検結果の相関を学校ごとに一覧表にまとめた例

県公立の高等学校ごとに、個々の生徒の学習の記録(調査書)の評定合計と合否との相関を、一覧表に記入し、合否の判断の参考資料とする。

活用可能な過去の受検生のデータも蓄積することによって、信頼性が高まる。

| 県公立高校受検結果一覧 |     |    | 学習の記録(調査書)の3年間の評定合計 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |
|-------------|-----|----|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 学校名         | 学科名 |    | 135                 | 134 | 133 | 132 | 131 | 130 | 129 | 128 | 127 | 126 | 125 | 124 | 123 | 122 | 121 | 120 | 119 | 118 | 117 | 116 | 115 |    |
| ●●          | 普通科 | 前期 | ○                   | ×   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |
|             |     | 後期 | ○                   |     |     |     |     |     | ○   |     |     |     |     |     |     |     | ○   |     |     |     | ×   |     | ○   |    |
| ××          | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ×   |     |     | ×   |     |     |     |     |     |     | ×  |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ×   |     |     | ○   |     |     |     |     |     | ○○ |
| ▼▼▼         | 普通科 | 前期 |                     | ○   | ○   | ×   | ○   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   |     |     |     | ×   |     | ×   |     |     | ○   |     |     |    |
|             |     | 後期 |                     |     | ○   | ○   |     |     | ○   | ×   | ○   | ×   |     |     |     | ×   | ○   |     | ×   |     |     |     |     |    |
| 〇〇〇         | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     | ○   |     |     |     |     | ×   | ○   | ○   | ×   | ×   | ×   |     | ×   |     | ×   | ×   | ×  |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   |     | ○   | ×   |     |     |    |
| ■ ■ ■ ■     | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ×   | ○  |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○  |
| △△          | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○   |     | ○   | ×  |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○  |
| □□□         | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ×   | ×   | ×   | ×   | ×   | ×  |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○   | ○   | ○   | ○   | ×  |
| ×××         | 普通科 | 前期 |                     |     |     |     |     |     |     |     | ○   | ○   |     |     |     |     |     | ×   |     | ×   |     |     |     |    |
|             |     | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | ○   |     |     |     |     | ○  |
| 外国語科        | 前期  | 後期 |                     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |

- (3) 数年間の一般入試（後期募集）の結果を、個々の生徒の校内テストデータや学習の記録のデータなどと併せて、学校ごとにまとめた例

校内テストのデータを100点満点換算で示すことにより、配点の違うテストでも共通資料として使えるように工夫している。

| 〇〇高等学校 普通科（男・女） |    |      |     |    |             |
|-----------------|----|------|-----|----|-------------|
| 年度              | 男女 | 平均得点 | 内申  | 合否 | 併願等         |
| 16              | 男  | 60.5 | 93  | ○  | △△高校○、□□高校× |
| 16              | 男  | 55.4 | 76  | ×  | △△高校○       |
| 17              | 男  | 62.3 | 89  | ○  | △△高校○       |
| 17              | 男  | 54.8 | 81  | ○  | △△高校×、◇◇高校○ |
| 17              | 女  | 50.7 | 101 | ○  | ◇◇高校○       |
| 18              | 女  | 48.8 | 85  | ×  | △△高校×、▽▽高校○ |
| 18              | 男  | 59.6 | 88  | ○  | △△高校○       |

3年生の校内テスト  
4～5回得点平均  
(100点満点換算)

学習の記録3年間の  
評定合計(135満点)

私立高校等の  
併願の記録

#### 4 データの扱い方の留意点

##### (1) 学校のパソコンのウィルスや情報流出等からの保護

- 毎月1度はWindows Updateを確認するとともに、Windows Updateの情報を得たら、確実に実行する。
- ウィルス対策ソフトを導入し、常に最新のものに更新する。
- 不審な電子メールは開かず削除する。(自動でメールが開かないようブラウザを設定する。)
- Winny等、独自のソフトウェア(ゲーム等の不要なソフトウェアを含む)を無断でインストールしない。

##### (2) 学校のパソコン使用時の盗み見等の防止

- 席を離れるときは、パソコンの作業画面を閉じる。
- 10分以内でパソコンのスクリーンセーバーが起動するよう設定し、復帰にはパスワードの入力が必要となる設定をしておく。

##### (3) 盗難、紛失、情報流出等の防止

- データ等保管する場所は鍵のかかる一定の場所に決めて他の場所に放置しない。
- 電子データは管理者を決めて、定期的にバックアップをとる。バックアップファイルの保管に関してはデータ等の保管に準ずる。
- 保管されているデータの使用状況が分かるよう、データ管理簿等を整備する。
- データは学校外に持ち出さない。
- 学校のパソコンは学校外に持ち出さない。
- データの印刷物で不要なものは裁断等をして適切に処分する。
- 生徒が卒業し不用になったデータは速やかに処分する。

#### IV 多様な見方で進学先を考えさせる進路指導の実践例

##### 1 各学年での学級活動の事例

進路指導は将来の生き方を見通して生徒自身が主体的に進路選択していけるよう支援するものである。そのためには、1年生から系統的に進路指導を行えるよう3年間を見通した指導計画の作成が重要である。

##### ① 実践例1

- ア 活動のテーマ 自分を知ろう（「〇〇さんへの手紙」）
- イ ね ら い 進路指導における自己理解の導入として、自分の良さや特徴をつかませる。また自分の個性を将来の進路選択（職業選択）に生かしていこうとする態度を養う。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・自分の良さや個性が分かる。（人間関係形成能力）
  - ・友人の良さを理解し、尊重する。（人間関係形成能力）
  - ・よりよい集団活動のための自分の役割を理解する。（将来設計能力）
- エ 実施時期 第1学年
- オ 学習の概要
- ・自分の長所や短所、興味を持っているもの、将来の夢をまとめる。このときに、勤労観・職業観をはぐくむ4つの能力（人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意思決定能力）の小学校段階までの達成度も自己評価させる。この4つの能力の説明はワークシートだけでは生徒にとって理解が難しいので、必ず教師が補足する必要がある。
  - ・友達の良い面を見出させるとともに、「4つの能力」を評価し、「〇〇さんへの手紙」を複数作成する。
  - ・自分宛の手紙を読んで、自分の特徴について新たに発見したこと、また感想をまとめる。
  - ・感想を発表し合い、自己目標を設定する。
- カ 資 料 資料1、2（P.15、16）

##### ② 実践例2

- ア 活動のテーマ 将来の夢と中学校生活を考えよう
- イ ね ら い 自分の夢とそれを現実にする方法を考えさせることを通して、働くことの意義を考え、望ましい中学校生活を送ろうとする態度を養う。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。（情報活用能力）
  - ・日常の生活や学習と将来の生き方との関連を理解する。（将来設計能力）
  - ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。（将来設計能力）
- エ 実施時期 第1学年



- オ 学習の概要
- ・将来の夢をあげ、それを実現するには中学校卒業後どのような進路を進めばよいのか班の中で話し合う。
  - ・全ての人が、将来的には、職業生活を送ることに気付き、働くことの意義を考える。
  - ・夢を実現するには、どのような中学校生活を送ればよいのかを考え、これからの中学校生活をデザインする。
- カ 資 料 資料3 (P.17)

### ③ 実践例3

- ア 活動のテーマ 友だちの「職場体験学習」から学ぼう！
- イ ね ら い 職場体験学習で自分だけでなく級友が体験した職業から、自分の将来を考え、目指す職業についての理解や関心を深めさせる。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・職場体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。  
(情報活用能力)
  - ・職業体験等で得たことを、以後の学習や進路選択に生かす。(情報活用能力)
  - ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。  
(将来設計能力)
- エ 実施時期 職場体験学習実施後
- オ 学習の概要
- ・職場体験学習での報告会を開き、お互いが体験したことについて発表を行う。
  - ・他の人の発表を聞いて気付いたこと分かったことをメモする。さらに詳しく聞きたいこと等を質問する。
  - ・自分が将来就きたい職業について考える。
  - ・体験報告会を終えての感想を記入し発表する。
- カ 資 料 資料4 (P.18)

### ④ 実践例4

- ア 活動のテーマ 高等学校選びの条件を考えよう！
- イ ね ら い 進学先の高等学校選択の際の条件を考えることにより、多様な見方から進路情報を収集していこうとする態度を養う。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・上級学校・学科等の種類や特徴の概要が分かる。(情報活用能力)
  - ・進路に関する情報を様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。(情報活用能力)
  - ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。  
(意思決定能力)
- エ 実施時期 第2学年上級学校調査実施前又は第3学年1学期
- オ 学習の概要
- ・進学先の高等学校を選ぶ際の条件について各自順位付けをする。

- ・班ごとに各自の順位とその理由を出し合い、話し合う。
- ・話し合った内容や結果について班ごとに発表し合う。
- ・進路先を検討していくときの心構えや目標について考えをまとめる。

カ 資 料 資料5 (P.19)

⑤ 実践例5

ア 活動のテーマ 高等学校選択について考えていこう！  
 イ ね ら い これまでの進路情報の収集活動を振り返るとともに、具体的な進学先  
 選択のために必要な情報を考え、進路相談に対する意欲をもたせる。

ウ キャリア教育上の視点

- ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。(将来設計能力)
- ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。(意思決定能力)
- ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。(意思決定能力)

エ 実施時期 第3学年2学期進路相談実施前  
 オ 学習の概要

- ・これまでに行った高等学校訪問等について振り返る。
- ・興味のある高等学校や進学したい高等学校について考えをまとめる。
- ・高等学校選びの際の条件等についてもう一度まとめる。
- ・実際の高等学校選択に向けて必要な情報について考えをまとめる。

カ 資 料 資料6 (P.20)

◇◇ 資料 ◇◇

資料1

( ) さんへ あなたのこんなところが素晴らしいです！！

「4つの力」を  
評価しよう！

|   |  |
|---|--|
| 1 |  |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |

あなたの友達より

### 自分を知ろう

みなさんは、一人一人がかけがえのない存在であり、それぞれが人にはないよさを持っています。今日は自分の「よさ」に目を向けてみましょう。

1 自分を見つめてみましょう。

|              |
|--------------|
| 長所           |
| 短所           |
| 今、興味を持っているもの |
| 得意なこと        |
| 将来の夢は        |

2 「4つの力」を評価しよう！

|   |  |
|---|--|
| 1 友達と仲良く協力したり、異年齢集団の活動に進んで取り組む。(人間関係)   |  |
| 2 学んだり体験したことと、生活や職業との関連を考えられる。(情報活用)    |  |
| 3 社会にはいろいろな役割がありその大切さがわかる。(将来設計)        |  |
| 4 自分の責任を果たしたり、将来の夢を持ち実現を目指して努力する。(意思決定) |  |

評価 大変良い ◎  
 よい ○  
 がんばろう △

2 友達から自分にあてた手紙(〇〇さんへの手紙)を読んで貼り付けましょう。

ここに手紙を貼っておきましょう。  
 手紙の上の部分だけにのりをつけて、重ねて貼ってください。



3 友達からの手紙を読んで、新たに発見した自分のよさや、感想をまとめましょう。

先生からのコメント

---

第1学年進路学習

学習日 月 日

将来の夢と中学校生活を考えよう

1 将来の夢はなんだろう。

|  |
|--|
|  |
|--|

2 夢を実現するためには、中学卒業後どのような進路をとればよいのだろうか。

|            |  |
|------------|--|
| 自分の<br>考え  |  |
| みんな<br>の考え |  |

3 夢を実現し、働くということはどんな意味があるのだろうか。

|            |  |
|------------|--|
| 自分の<br>考え  |  |
| みんな<br>の考え |  |

4 夢を実現するためには、これからどのような生活を送ればよいのだろうか。

|  |
|--|
|  |
|--|

5 これからの中学校生活をデザインしてみよう。

|        | 生 活 | 学 習 | 部活動 |
|--------|-----|-----|-----|
| 1<br>年 |     |     |     |
| 2<br>年 |     |     |     |
| 3<br>年 |     |     |     |

第2学年進路学習

学習日 月 日

## 友だちの「職場体験学習」から学ぼう！

初めての社会体験、それぞれの職場体験はどうだったでしょうか。  
自分で体験した一つの職場だけでも、いろいろなことが学べたと思いますが、体験したときの気持ちや分かったことなどを、友だちどうしで教えあったり、聞きあったりして、みんなの情報にしていくことで、もっとたくさんの職業のことがわかるようになって、働くことに対して今までとはちがった見方ができるようになります。

とても貴重な5日間の体験から得た情報です。友だちの体験からも進んで学んでいきましょう。

- 1 他の人の発表を聞いて、気付いたことやわかったことをメモしておきましょう。

| 体験先 | 報告者 | 気付いたことやわかったこと |
|-----|-----|---------------|
|     |     |               |
|     |     |               |

- 2 他の人の職場体験の報告を聞いて、自分も体験してみたい、将来やってみたいと思った体験先をその理由もいっしょに書いてみましょう。

| 体験先 | 選んだ理由 |
|-----|-------|
|     |       |
|     |       |

- きょうの学習をふりかえろう（あてはまる記号に○を付けましょう）

A=よくできた B=だいたいよくできた C=あまりできなかった D=できなかった

- (1) 自分が体験したことや体験から学んだことを、わかりやすく伝えることができましたか。 A B C D
- (2) ほかの人の体験報告から、職業や生き方についての情報を積極的に収集することができましたか。 A B C D
- (3) ほかの人の体験報告から、職業や仕事の内容、仕事や生き方に対する考えについて理解することができましたか。 A B C D
- (4) ほかの人の体験報告から、自分が将来やってみたい職業や仕事への関心や意欲を持つことができましたか。 A B C D
- (5) ほかの人の体験報告から、職業や生き方に対する様々な価値観について興味・関心を持ち、自分の考えが広がりましたか。 A B C D

- 体験報告会を終えての感想を書いてみましょう。

|  |
|--|
| <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> |
|--|

第2学年進路学習

学習日 月 日

## — 高等学校選びの条件 —

(さて、あなたの優先順位は?)

あなたが中学校卒業後の進路（進学先の高等学校など）を選択していくとき、どんな条件を優先して考えていくでしょうか、また、その条件を優先するのはどうしてでしょう。

自分が進路選択をせまられているときの、その条件の優先順位を考えてみましょう。

- 1 次の条件について、まず、自分なりに順位付けをしてみましょう。
- 2 次に、班の人たちの意見を出し合ってその順位をあらためて見直してみましょう

| 条 件            | 私の順位 | 班の順位 | 理 由 |
|----------------|------|------|-----|
| 公立か<br>私立か     |      |      |     |
| 校風はどうか         |      |      |     |
| 制服はどうか         |      |      |     |
| 別学か<br>共学か     |      |      |     |
| 学習の内容は<br>どうか  |      |      |     |
| 卒業生の進路は<br>どうか |      |      |     |
| 学校行事はど<br>うか   |      |      |     |
| 部活動はどうか        |      |      |     |
| 合否のめやすは<br>どうか |      |      |     |

- 3 進路先を検討していくときの心構えについて自分の考えをまとめておきましょう

第3学年進路学習

学習日 月 日

## 高等学校選択について考えていこう！

- あなたは、中学校卒業後の進路について具体的にどのような見通しを立てていますか？
- 将来につながる大切な進路選択をするとき、「とりあえず高校へ進学しておこう。」  
「受かりそうな高校を探そう。」というような考え方でよいといえるでしょうか？
- 自分自身の希望や適性について振り返ると同時に、できるだけ多くの高等学校についての情報を、様々な見方から収集しながら、保護者や先生、友だちなど多くの人たちと相談し合い、真剣に考え、じっくりと時間をかけて進路先の選択を進めていきましょう。
- また、その進路実現のために精一杯の努力を積み重ねていきましょう。

- 1 自分がこれまでに上級学校調査や学校説明会、体験入学等で訪問した高等学校を書きましよう！

| 高等学校名 | 学 科 | 選んだ理由と訪問しての感想 |
|-------|-----|---------------|
|       |     |               |
|       |     |               |
|       |     |               |

- 2 自分の興味のある高等学校や進学してみたい高等学校をあげてみよう！  
また、どうしてその高等学校をあげたのか理由（選んだ基準としたことがらなど）を書きましよう！

| 高等学校名 | 学 科 | 理 由 |
|-------|-----|-----|
|       |     |     |
|       |     |     |

- 3 高等学校選択の条件や参考になることなどをまとめておきましょう！

- 4 進学する高等学校を選ぶために知っておいたほうがよいと思われることをまとめておきましょう！

- 5 授業を振り返って、高等学校選択に向けての抱負を書きましょう！

## 2 工夫を凝らした三者面談の事例

進路相談は、生徒自身の当面の問題をよりよい方向に解決するための指導・援助にとどまることなく、生徒の今後の人生における進路の問題を自主的に解決していけるような力を育てていくことである。第3学年での進路相談として、二者・三者による相談やいわゆる模擬面接練習を実施している学校が多いが、その内容は成績を見ながら担任が進学希望校の可否の可能性についてアドバイスをしたり、高等学校入試の面接試験のための練習を行うことが中心となっている。

中学校における進路指導が、単なる「出口指導」とならないよう、進路相談の効果的活用が求められている。

そこで、中学校で系統的、計画的に実施してきた啓発的な体験学習などを中心に、「生き方指導」としての進路指導の取組を生かすために、進路相談活動の評価と生徒自身の自己評価を行いながら、生徒一人一人に自分自身の現状に気付かせるとともに、自分自身の進路に対する考えかたや課題を確かめさせ、進路を主体的に選択していくことができるよう計画的に支援していくことが大切である。

以下に、第3学年後半における進路相談の日程例と三者面談への取組の実践例をあげる。

### ◇◇ 進路相談の主な日程の例 ◇◇

|            |   |
|------------|---|
| 9月下旬～10月上旬 | <p>○第2回担任との二者面談（第1回は1学期に実施）<br/>（現在の中学校生活と卒業後の進路に対する考え方の再確認）<br/>※これまでの進路学習を振り返らせる。<br/>（進路学習のワークシート等の活用）<br/>※高等学校について調べるための資料について再度知らせる。<br/>・職業情報の冊子 ・高等学校紹介の本<br/>・高等学校のパンフレット、募集要項等<br/>※調べる観点や方法などについて知らせる。</p>           |
| 10月中旬      | <p>○各学級での模擬面接指導<br/>※自分自身についてまとめさせるとともに、家庭でも話し合うよう指導し、自分の進路に対する考えをまとめさせる。<br/>（自己紹介カード及び進路希望調査を作成）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学年会で検討<br/>進路相談、三者面談実施に向けての共通理解事項など</p> </div> |
| 11月上旬      | <p>○第1回面接指導及び第1回三者面談</p>  |
| 11月中旬      | <p>学年会で検討<br/>面接指導、三者面談後の指導の経過や今後の課題について<br/>・相談後、生徒の自己評価と教師の指導評価・反省を行う。<br/>・随時、二者面談等を通して資料提供などを行う。</p>  |
| 11月下旬      | <p>○学級活動<br/>（面接指導、三者面談の反省、次回の相談へ向けて）<br/>※面接指導及び三者面談について振り返らせる。</p>  |



|       |   |
|-------|---|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接指導評価表、面接自己評価カード、三者面談自己評価カードを活用する。</li> <li>・進路相談個人票に基づく支援を行う。</li> </ul> <p>※各生徒の受験希望校について調べるための資料等を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業情報の冊子</li> <li>・高等学校紹介の本</li> <li>・高等学校のパンフレット、募集要項等</li> </ul>   |
| 12月上旬 | <p>学年会で検討</p> <p>第2回面接指導、三者面談実施に向けての共通理解、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの相談を基に、もう一度自分自身についてまとめさせるとともに、家庭でも話し合うよう指導し、自分の進路に対する考えをまとめさせる。</li> <li>・自己紹介カード及び進路希望調査を作成する。</li> </ul>  |
| 12月中旬 | <p>○第2回面接指導及び第2回三者面談</p> <p>※相談後、生徒の自己評価と教師の指導、評価、反省を行う。</p> <p>※随時、二者面談等を通して、資料提供などを行う。</p>  |
| 12月中旬 | <p>学年会で検討</p> <p>面接指導、三者面談後の指導について（学級活動に向けて）</p>  |
| 12月下旬 | <p>○学級活動</p> <p>（面接指導、三者面談の反省、進路実現に向けて）</p> <p>※面接指導及び三者面談について振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接指導評価表、面接自己評価カード、三者面談自己評価カードを活用する。</li> <li>・進路相談個人票に基づく支援を行う。</li> </ul> <p>※各生徒に受験（予定）校の資料等を提供するとともに、具体的な入試のための事務手続きや受験に向けての学習の指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校のパンフレット、募集要項等の準備</li> <li>・出願書類等の作成準備</li> </ul> |

### ① 実践例1

- ア 活動のテーマ より充実した三者面談にしよう！
- イ ね ら い これまでの三者面談を振り返ることにより、相談をより充実させるためにはどうしたらよいかを考えさせるとともに、主体的な進路選択・決定への意欲をもたせる。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。(将来設計能力)
  - ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。(意思決定能力)
- エ 実施時期 第3学年2学期三者面談実施後
- オ 学習の概要
- ・行った三者面談について振り返る。
  - ・振り返りから、自分が次回の三者面談までに行うことをまとめる。
  - ・次回の三者面談に向けての心構えや準備について考える。
- カ 資 料 資料7 (P.24)

### ② 実践例2

- ア 活動のテーマ 生徒司会の三者面談
- イ ね ら い
- ・生徒が進路の問題を自分の問題として受け止め、自分の意志と責任で自分の進路を選択、決定できるようにする。
  - ・自らの将来の夢や希望の実現を目指し、目的を持って、自分が進学したい学校を選択できるようにする。
  - ・志望の実現に向けて、取り組んでいる学習について努力することを明確にし、新たな目標をもたせる。
- ウ キャリア教育上の視点
- ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。(将来設計能力)
  - ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。(意思決定能力)
- エ 実施時期 第3学年 2学期三者面談
- オ 学習の概要
- ・三者面談のうち日常生活については、教師中心に進め、進路相談の部分は生徒自らの司会進行で行う。
  - ・志望する学校、職種などを決めていく。特に、私立高等学校、専門学校、就職希望者は、この面談で具体的なことを決め、準備に入る。そのために、事前に自分の考えをよくまとめさせる。
  - ・保護者には、進路オリエンテーションを通じて、三者面談の趣旨、生徒司会で行うこと、親としての考えをまとめておくことを連絡する。
- カ 資 料 資料8、9 (P.25、26)

第3学年進路学習

学習日 月 日

## 三者面談を振り返って

1回目の三者面談が終わりました。

一人一人の中学校卒業後の進路についての話し合いを行いました。有意義な話し合いになったでしょうか。

その後、各家庭で話し合いをしたり、実際に調べたりするなどの取組をしたでしょうか。

○月○日から始まる第2回の三者面談に向けて1回目の三者面談を振り返ってみましょう。

[あてはまる記号に○を付けましょう]

A=よくできた B=だいたいよくできた C=あまりできなかった D=できなかった

## 1 三者面談の前の取組は・・・

- |                                    |   |   |   |   |
|------------------------------------|---|---|---|---|
| ①自分の進路についてよく調べましたか。                | A | B | C | D |
| ②自分の進路選択に当たって様々な条件から検討することができましたか。 | A | B | C | D |
| ③自分は進路の希望をしっかりともつことができていましたか。      | A | B | C | D |
| ④自分の進路希望について家庭でよく話し合うことができましたか。    | A | B | C | D |
| ⑤家庭で話し合ってお互いに考えをまとめることができていましたか。   | A | B | C | D |

## 2 三者面談では・・・

- |                                    |   |   |   |   |
|------------------------------------|---|---|---|---|
| ①自分の進路に対する考えをしっかりと話すことができましたか。     | A | B | C | D |
| ②自分の進路先について様々な見方から考えを述べることができましたか。 | A | B | C | D |
| ③家の人や先生の考えをしっかりと聞くことができましたか。       | A | B | C | D |
| ④自分の進路に対する考えをもう一度検討することができましたか。    | A | B | C | D |
| ⑤これから先の取組についてしっかりと理解することができましたか。   | A | B | C | D |

## 3 三者面談の後の取組は・・・

- |  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| ①面談の結果を基に進路について様々な見方からもう一度調べたり考えたりしてみましたか。 | A | B | C | D |
| ②面談の結果を基に家庭でもう一度よく話し合いましたか。                | A | B | C | D |
| ③話し合いを基に自分の進路希望についてしっかりとした考えをもつことができていますか。 | A | B | C | D |
| ④面談で決まったことなどを具体的な行動に移すことができていますか。          | A | B | C | D |
| ⑤次回の三者面談に向けて準備を始めていますか。(家庭での話し合い等)         | A | B | C | D |

## 4 反省を基にして、次回までに行うことをまとめてみましょう。

## 第3学年進路学習

学習日 月 日

## 1 事前準備

## (1) はじめに

今回の三者面談は、志望する学校、職種などを決めていきます。特に、私立高等学校、専門学校、就職希望者は今回の三者面談で具体的なことを決め、準備に入ります。

## (2) 三者面談の内容

## (ア) これまでの生活、学習について (教師中心)

・自分の反省 ・親から見て ・先生から

## (イ) 進路希望について (生徒中心)

・自分の希望 ・親の考え ・先生からのアドバイス

## (3) 進路相談の進め方

(ア) は教師中心。(イ) は、みなさんが中心(司会をする)となります。

下記の例のように進めていきます。自分の考えをしっかりとまとめておいてください。

また、お父さんやお母さんにも意見を聞く場面があります。連絡しておいてください。

## 2 進め方の例

教師：それでは進路希望について話し合います。ここからは□□さん、進めてください。

生徒：進路について話し合います。まず、はじめに私が自分の希望について話します。

次にお父さん(お母さん)の意見を聞き、最後に先生からアドバイスをしてもらい  
中学校卒業後の進路を決定していきたいと思います。

生徒：私は、将来△①△ になりたいと思っています。なぜなら △②△ だからです。

生徒：中学校卒業後は[ 進学 ・ 就職 ]したいと思っています。

[ 進学 ・ 就職 ]の第一希望は… △③△ で、第二希望は… です。

第一希望を選んだ理由は △④△ です。第二希望は… で選びました。

質問がある場合は出してもらおう

生徒：私の希望に対し、お父さん(お母さん)の意見はどうですか。

保護者：「

質問がある場合は出してもらおう

生徒：先生はどう思いますか。

教師：「

生徒：私は、△⑤△ にしたいと思います。

お父さん(お母さん)、何かありますか。先生、何かありますか。

保護者：「

教師：「

生徒：これで進路に関しての話し合いは終わります。

★進路相談がスムーズに進むように、自分の考えを書き、進め方を練習しておく。

第3学年進路学習

学習日 月 日

## 自分自身を振り返り、進路を考えよう

## 1 これまでの反省

|    |
|----|
| 生活 |
| 学習 |

## 2 進路希望について

①将来…になりたい。

|  |
|--|
|  |
|--|

②なぜなら…だからです。

|  |
|--|
|  |
|--|

卒業後は進学・就職したい。

③第一希望は

④その理由は

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

⑤僕は（私は）…したいと思います。（ここはその場で）

|  |
|--|
|  |
|--|

### 3 学校便り、進路通信の事例

#### (1) 地域・保護者の理解と協力を得る

価値観が多様化した社会にあつて、生徒は自らの生き方、進路を見出すことが難しい状況にある。こうした生徒が、保護者や身近な大人又地域の社会人と接する中で問題の解決を図ることが望まれる。

地域には、生徒が生き方や進路を考える上で、知ってほしい、見てほしい、触れてほしい、人々の生き方、産業施設、自然や文化などがある。具体的な活動を通して、地域や保護者と連携し、地域に支えられた、生き方指導としての進路指導を進めていくことが大切である。

#### (2) 保護者とともに進路指導を進める

生徒が自己の個性の理解を深め、将来の社会生活・職業生活を通して自己の実現を目指し、自らの意志と責任で進路を選択することができるよう指導・援助するためには、保護者に対して一方的な働きかけを行うのではなく、保護者とともに進路指導を進めながら、その過程を通して保護者の理解を得ることが大切である。

#### (3) 進路についての情報を共有する

保護者とともに進路指導を進めるためには、学校と保護者が生き方指導としての進路指導の大切さを理解し、進路に関する諸情報を共有することが大切である。

進路に関する情報については、卒業生の進路状況、上級学校の種類や内容等だけでなく、進路指導の目標と計画、学習内容など幅広い情報を、「学校便り」「進路便り」等の通信や学校のホームページを活用し、共有することが大切である。また、保護者の声を聞く場面や欄を設定するとともに、それを紹介し、保護者同士が情報を共有できる視点も大切である。

#### ◇◇ 3年生向け進路通信年間計画例 ◇◇

| 月   | 内 容                                     | 月   | 内 容  |
|-----|---|-----|--|
| 4月  | ・進路指導年間計画<br>・卒業生の進路状況                  | 11月 | ・第2回三者面談に向けて<br>・就職に向けての取組について                       |
| 5月  | ・県公立・私立高校、専門学校等の説明<br>・第1回進路説明会保護者会について | 12月 | ・第2回の進路希望調査について<br>・「成績及び諸活動等の記録通知書」<br>「自己PR書」等について |
| 6月  | ・高校説明会・体験入学の案内、申込み<br>・体験入学等における注意事項    | 1月  | ・入試に関する今後の全体的な流れ<br>・入試に際しての心構え<br>・私立高校、前期入試について    |
| 7月  | ・高校説明会・体験入学の案内、申込み<br>・第1回三者面談に向けて      | 2月  | ・入試当日の最終確認について<br>・後期入試について<br>・諸手続について              |
| 9月  | ・2学期の進路指導について<br>・第1回進路希望調査について         | 3月  | ・入試結果のまとめ<br>・今後の学校生活について                            |
| 10月 | ・第2回進路説明会保護者会について<br>・卒業生「先輩の話を聞く会」について |     |  |

# 南中だより

平成19年 7月号

〔校訓〕  
自主・協同・創造

☆ 自ら学ぶ生徒  
☆ 豊かな心をもつ生徒  
☆ たくましい生徒

〇〇市立南中学校  
TEL  
平成19年7月〇日 発行

南中ホームページアドレス URL : <http://>

## 夏休み中の体験学習

校長 ○ ○ ○ ○

いよいよ夏休みになります。3年生は進路の決定に向け努力する時期になりました。2年生は、部活動や学習面の中心となってリードする立場になります。1年生は、中学生活にも慣れ、部活に勉強に力を発揮する時期です。全生徒が自ら目標を持ってこの夏休みを有意義に過ごしてもらいたいと思います。特に長期の休みには普段できない多くの体験学習をしてもらいたいと思います。

体験学習とは、例えば、3年生は高校見学会に参加するとか、1、2年生は、家族旅行の旅先で接する多くの職業を調べてみるとか、夏休みだからこそでできる体験を数多く経験してもらいたいと思います。これらの体験が、皆さんのこれからの進路の選定に際して貴重な判断材料となります。身近にあるたくさんの職業を見聞することが、将来の夢に繋がることになるからです。

先日、「薬物乱用防止及び非行防止教室」が開催され、埼玉県警本部、少年課、非行防止指導広報班「あおぞら」の若い二人の婦警さんにお世話になりました。その婦警さんたちは警察の広報活動を職業としていますが、地方公務員の警察官採用試験を受け、合格して警察学校に入学し、卒業後、現在の広報班に配属されているとのこと。一人の婦警さんは市内の〇〇中学校の出身だそうです。

中学時代は、自らの将来に対して具体的な決定へ向け動き出す時期になります。自分の夢を、ご両親や担任の先生とよく相談して、やがてはしっかりした方向を見つけ出さなければなりません。そのためにも、多くの職業に接して自分なりの職業観を持ってもらいたいと思います。

誰でも人生は一度だけです、自分の人生を満足できるよう、生きがい、働きがいのあるものにしたいたいです。そのためにも、全生徒が、この夏休みを有効に活用してもらいたいと思います。

私たちの生活はたくさんの人たちの仕事によって支えられています。この社会はお互いに助け合う仕組みになっています。誰もが、社会に対して役立つ仕事を果たすこと、これが働くことの生きがいであり、生きていることの意味もそこにあります。皆さん一人ひとりが、自らの夢の実現に向け全力で努力してもらいたいと思います。

夏休みの期間に子どもさんに多くの体験をさせたり、保護者の皆さんの職業観を話してやることは大切なことと思います。よろしく願いいたします。

## 1年間の大まかなスケジュール

| 5月                        | 6月          | 7月                    | 8月 | 9月                    | 10月                                  | 11月                             | 12月              | 1月                                   | 2月                    | 3月              |
|---------------------------|-------------|-----------------------|----|-----------------------|--------------------------------------|---------------------------------|------------------|--------------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 中修<br>間学<br>テ旅<br>ス行<br>ト | 班<br>大<br>会 | 期<br>末<br>テ<br>ス<br>ト |    | 校<br>内<br>テ<br>ス<br>ト | 中<br>三<br>者<br>面<br>談<br>テ<br>ス<br>ト | 校<br>期<br>内<br>末<br>テ<br>ス<br>ト | 三<br>者<br>面<br>談 | 校<br>三<br>者<br>面<br>談<br>テ<br>ス<br>ト | 学<br>年<br>テ<br>ス<br>ト |                 |
| 志望校を考える                   |             | 体験入学                  |    | 志望校をしぼり込む             |                                      | 学校説明会                           |                  | 受験校の決定                               |                       | 私立入試<br>公立入試前後期 |
|                           |             |                       |    |                       |                                      | 個別相談会                           |                  |                                      |                       |                 |

## 1学期の予定

## ①卒業後の進路について親子で話し合っておいてください。(4～5月頃)

生徒一人ひとりが、3年に進級したので卒業後の進路について考え始めたいと思います。具体的に進学したい高校の名前等が出てこなくても構いませんから、各家庭で「就職か進学か、進学ならば公立で」など方向だけでも確認の話し合いをお願いします。

※1学期中に第1回目の進路希望調査を行う予定です。

## ②体験入学・学校説明会(6月～)

県公立・私立ともに、7月頃から体験入学・学校説明会を行っています。実際に見学すると、その学校の雰囲気わかります。5月下旬頃から各高校から案内がきます。詳しいことは、進路通信でお知らせしたり、進路相談室や廊下等に掲示したりします。体験入学・学校説明会を希望する場合は、日程を確認し、申し込み用紙に必要事項を記入し、担任の先生に提出して確認印をもらい、その用紙を担当まで提出して申し込んでください。

※実施予定一覧表など届きましたら、掲示する予定です。

※これから提出をしていただく書類が増えてきます。

提出物は、期限内に提出していただけるようご協力をお願いします。



## 学級活動(進路について考えよう)の実施

4月21日の第5校時の授業参観で『進路について考えよう』を全クラスで学習しました。内容は、①1年間の進路の流れの確認、②中途退学の理由、③先輩の事例から進路選択をどうしたらよいか、についてでした。将来の希望を持ち、“高い志”のもと自分の進路を考えていきましょう。

## 高等学校からの案内を随時掲載します

進路通信『羅針盤』では、進路に関する様々な情報を掲載しますが、特に関心の高い進路の情報は「進路メモ」(カレンダー等の活用でも可)のようなものを作成し、その都度きちんと書き抜いていく習慣が身に付くようにするとよいでしょう。日時や場所の確認、持ち物などは個人の責任です。「忘れていた」とか「間違えた」などということのないように、十分注意してください。

すでに高等学校からは何通かの封書が各中学校に送られてきています。自分を生かせる進路先を正しく見極められるように情報を整理していきましょう。廊下の窓の下の壁や進路相談室の廊下の壁に高校からのポスターやお知らせ等の掲示物を貼っていきますので、気にかけてよく見るようにしてください。

また、進路通信は自分で目を通した後、必ず保護者の方に渡し、読んでいただくようお願いいたします。

## 知っていますか 中学校卒業後の進路の種類

| 進路先      | 主な特徴  | 年数             |
|----------|---|----------------|
| 高等<br>学校 | 全日制<br>国立・都道府県立・市立・私立<br>定時制<br>働きながら学ぶ学校<br>通信制<br>通信(レポート・スクーリング)に<br>よって学ぶ学校 | 3年<br>4年<br>4年 |
| 工業高等専門学校 | 中堅技術者の養成  | 5年             |
| 専修学校     | 高卒の資格取得の可能な場合もある  | 1年以上           |
| 各種学校     | 専門的な技術の取得   | 3ヶ月以上          |
| 高等技術専門学校 | 専門的な訓練後、就職  | 1～2年           |

### ① 国立高等学校

- 国が設置して経営にあたっている高等学校で、国立大学の附属高等学校がその大部分をしめています。埼玉県では、筑波大学附属坂戸高等学校のみです。学区制はありませんが、通学条件が決められているところもあります。

### ② 県公立高等学校

- 県や市で設置している高等学校で、埼玉県には全日制の高校は158校あります。同じような教育内容ではありますが、近年特色のある高等学校が多く見られるようになってきました。学区の制限はなく、どの県公立高等学校でも受検できます。

次号で、私立高等学校、工業高等専門学校、専修学校、高等技術専門学校等を紹介いたします。

# しんろ

〇〇〇立〇〇中学校  
第3学年進路通信 No.7  
H. 19. 7. 〇

## 期末テストを終えて

3年生1学期の定期テストである中間テストと期末テストは、どうだったでしょうか。結果が返ってきて、ほっとしている人も多いことでしょう。全般的に今までと比較して頑張って勉強したようです。既に「学習の記録」を渡されていると思いますが、定期テストの得点や順位だけにとらわれることなく、自分が勉強した内容が本当に自分に身に付いたかどうかを確認してみましょう。わからなかったところは、もう一度よく復習し、確実に自分のものにしておきましょう。

さて、前回からお知らせしている学校説明会や体験入学の申込みについてですが、今回も次の学校の案内が来ていますのでお知らせします。県公立高校の情報を載せてあります。

| 学校名                          | 種類          | 日時(受付は開始時刻の30分程度前からです)                      |
|------------------------------|-------------|---|
| 県立坂戸高等学校<br>※体験入学は外国語科       | 説明会<br>体験入学 | 8月17日(金) 13:30~14:40<br>8月28日(火) 9:00~11:30 |
| 県立松山高等学校                     | 説明会         | 7月28日(土) 9:30~11:00                         |
| 県立松山女子高等学校                   | 説明会         | 8月24日(金) 10:00~                             |
| 県立小川高等学校                     | 説明会等        | 8月 3日(金) 9:30~                              |
| (本資料では、紙面の関係で情報の一部のみを表示とします) |             |   |
| 県立川越女子高等学校                   | 説明会         | 8月 3日(金) 10:00、 14:00                       |
| 県立熊谷女子高等学校                   | 説明会         | 8月 7日(火) 9:30~                              |

説明会や見学会の回数が各校とも多くなっており、進路通信には紙面の都合上載せきれないものもあります。ぜひ、進路に関する情報に関心をもって、廊下のポスターや教室内の掲示等をよく見るようにしてください。その際、実施日時や締切日等も確認をしてください。

なお、私立高校については、既に一括してお知らせしてありますのでよくご覧ください。

## 学校説明会・体験入学等の申込方法

申込みについては、教室にある申込用紙に、必要事項を記入し、締切期限を厳守して担任の先生に提出してください。なお、申込み後は取消がないように気を付けましょう。(夏休み中など、まだ予定がはっきりと分からないものについては、計画を確認してから申し込みましょう。)

|      |                          |                 |
|------|--------------------------|-----------------|
| 校内締切 | 原則として中学校に申し込んでからにしてください。 |                 |
|      | ・生徒が高校等に直接申し込む学校         | → 高校等の締切日の3日前まで |
|      | ・特に予約を必要としない学校           | → 実施日の前日まで      |
|      | ・中学校でまとめて申し込む学校          | → 高校等の締切日の5日前まで |

# しんろ

〇〇〇立〇〇中学校  
第3学年進路通信 No.11  
H. 19. 11. 〇

## 三者面談を終えて

先週の三者面談では、お忙しい中、学校にお出でいただきありがとうございました。生徒たちも緊張して三者面談に臨んでいたようです。毎日子どもたちと接していますが、また違った一面が見られました。

ところで、生徒の皆さんは三者面談で、自分の意見・考え・思いをはっきり述べることができましたか。振り返ってみてください。

- ① 自分の目標は、はっきりしており、家の方も賛成し理解してもらっている。
- ② 自分の目標は、はっきりしているが、家の方は反対または十分理解してくれていない。
- ③ 自分の目標が、はっきり定まっていないため、家の方にもきちんと述べるができなかった。さてこの中のどれでしたか。

まずは、みなさんが自分の将来を見つめて、どの進路を選択するのかを決めなければ、家の方や学校はみなさんをサポートできません。限られた残りの学校生活の中で、まずは自分がしっかり目標をもつことが大切なことは言うまでもなく、みなさんも分かっていることと思います。そのための情報が必要であれば、先生に積極的に聞いてください。どんどん情報を提供します。

さて保護者の皆様から出されました質問・要望についていくつかを紹介いたします。

- ・どんな時期にどんなことをどのようにしたらよいか。県立、私立ともによく分からない。
- ・今の学力でどの高校が入れるか？
- ・今の高校進学制度についてよく分からない所が多くあるので、説明会などがもう少しあると良いと思う。
- ・希望する学校の内申点の前期・後期の合格基準が知りたい。
- ・今の時点では、第一希望の高校に進めるかどうか。その他、私立高校の現状も教えて欲しい。
- ・本人は、就職したいみたいなのだが、“これがやりたいから”と言う理由なら応援したい。就職についての現状を知りたい。

----- 切 り 取 り 線 -----

今回の三者面談後、家庭で話し合われた内容、また三者面談では聞くことができなかった、進路のことについて、悩み事や質問したいことなど、何かありましたらお書きください。

3年 組 番 氏名



平成18年12月〇日

**NO. 16**

〇〇立〇〇中学校

## 『公立高校前期募集における総合問題は？』

現高校1年生が、昨年度の受検（受験）の際のアンケートから、公立高校前期募集における総合問題についてメッセージを伝えます。

### 事前の準備に関して

- ・総合問題は昨年度より難しく、思うように解けなかったので、総合問題を甘く見てはいけないと思った。どんな問題が出てもしっかりと勉強をすることが大切だと思う。
- ・総合問題は普段思ってもみなかった所から出題されるので、普段の生活の中で意味のわからないことばがあったら【調べる】という習慣を身につけておくとよいかも知れません。
- ・ことわざの意味や、慣用句の意味を問われたりするので、準備をしっかりしたほうが良いです。
- ・総合問題では知識の深さを問われる問題が多いので、日ごろから資料集を見るようにすると良いです。
- ・総合問題の中で、英作文の配点が18点と高い割合だった。
- ・自分の考えを英文で書けるようにしておくが良い。歴史に関する問題は、かなり奥深い質問が設定されるので、教科書を深く読んでおくことが必要です。数学は応用力が必要とされる。
- ・いろいろな物事に対して、その理由を問われる問題が多いので、記述に慣れておくことが大切であると思う。
- ・総合問題では5教科が融合された問題が出題され、時間は50分です。試験時間は思ったより短く感じ、英文や日本語の長文は素早く文章を読む必要があります。理科や数学の分野では計算力が問われます。
- ・適性検査では、学系の専門的な問題が出題されるので、学系の勉強は基礎からしっかりやっておかないといけない。（県立〇〇〇〇〇〇〇高校）
- ・語学系列（英語）では、面接官の先生との英語の問答だった。実際にどのような内容であるか本番まで予測が出来ず、それに向けて勉強をしていくことは大変であった。いつもは出来ることが、本番では緊張してしまっていて出来なくなってしまうこともあるから、本番での不安が少しでも少なくなるよう普段から努力を積み重ねることが大切だと思う。また、本番のシュミレーションをして時間を設定して練習してみることも大切だと思う。（県立〇〇〇〇〇〇〇高校）
- ・総合問題は問題も多く、時間が足りなかった。数学や英作文が難しい。国語は慣用句やことわざも出題されたので、ある程度知っておくべきです。

### 総合問題を受ける時のアドバイス

- ・総合問題はとにかく難しいので焦ってしまいがちですが、そうすると普段解ける問題も解けなくなってしまうので、わからない問題は思い切ってとばしたほうが無難だと思います。自信のある問題で確実に点を取れるようにするのが一番です。
- ・問題はわかるところからやって、そこを確実に正解させるところから得点につなげていくと欲しい。
- ・総合問題を始める前に、時間配分をしっかりと考えてすすめた方が良い。わからない問題であっても焦らず落ち着いて取り組んだほうが良い。
- ・英作文は、とにかく自分の知っている単語を使いとにかく書くことです。部分点をねらうことも大切です。

## V 情報を収集するための実践例

進路選択に当たっては成績等の一面だけで上級学校を選ぶことなく、自分の興味や関心、適性等を踏まえ、将来の職業や生き方につながる高等学校などを探していくことが重要である。その際、上級学校のことを十分に理解せずに進学先を選ぶことはできない。

生徒や保護者がどのような情報を収集するかが重要になるが、学校がどのような情報を提供することができるかも重要である。

現在、教員の進路情報の収集については、生徒・保護者による主体的な進路選択を重視するあまり、教員が自ら高等学校に出向き情報収集することの不足や、中学校と高等学校との情報交換の不足などが指摘されている。そのため中学校が、高等学校等へ訪問するなど情報収集・情報交換を適切に行い、生徒・保護者への情報提供の充実に努めることが必要である。

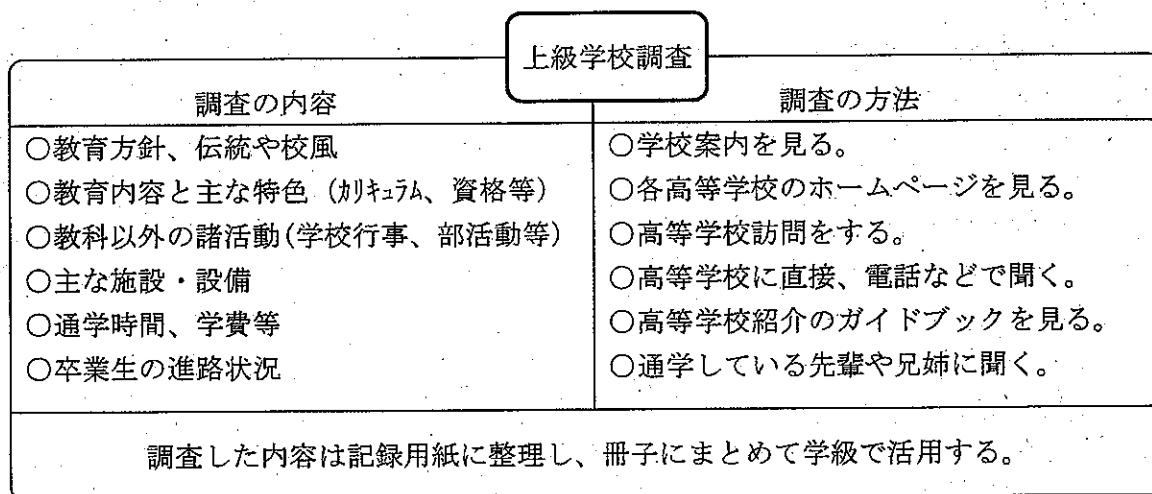
これらの視点を踏まえつつ、ここでは、上級学校の種類や内容を広く知るための活動から、進学したい高等学校を見つけるまでの高等学校の情報収集の実践例を体験的な活動を中心に紹介する。こうした手法を通して、生徒や保護者ばかりでなく、教師も実践を通して適切な進路指導を行うための多くの情報を得ることが可能となる。

### 1 上級学校調査、高等学校等体験入学から情報を得る事例

#### (1) 取組の概要

ア 既存の高校説明会に参加するものではなく、進路学習の一環として、中学生が一日、高等学校等を訪問し、授業体験学習を行う「高校発見DAY」を実施する。

イ 3年の生徒とともに、保護者も参加できるようにする。



体験を通して理解を深める

『高校発見DAY(高校授業体験学習)』の実施

#### (2) 『高校発見DAY(高校授業体験学習)』について

ア ねらい

- 進路学習の一環として、高等学校を直接訪問し、生徒が自分の将来や適性を見据えた進路選択をする際の一助とする。

- 高等学校での生活や学習についての具体的な情報を収集する。
- 卒業生が多く進学している高等学校で授業等を体験することにより、上級学校への理解を深める。

#### イ 概要

- ◇実施時期 11月～12月
- ◇訪問する高等学校 卒業生が多く進学している近隣の高等学校
- ◇体験の内容 各学科の特色ある授業を中学生向けにアレンジしてもらう。  
その他、高等学校での活動を体験する。
- ◇当日の日程
  - ・全体会 ・学校食堂で昼食
  - ・授業見学（高校生の授業を見学）
  - ・体験授業（数名から30名に分かれて50分程度体験）
  - ・部活動見学 など

#### ウ 事前及び事後の学習

- 近隣の高等学校の中で協力してもらえる学校を探す
- 体験授業の概要説明と希望調査
- 事前指導（前日）
- 報告書とお礼の手紙の作成

## 2 中学校に高等学校の先生を招いて情報を得る事例

### (1) 取組の概要

- ア 生徒の進学希望が多い学校の先生を招き、『生き方発見DAY(出前説明会)』を校内で実施する。
- イ 3年の生徒、保護者だけではなく、希望する1、2年の保護者も参加できるようにする。

### (2) 『生き方発見DAY(出前説明会)』について

#### ア ねらい

- 生徒が進学を希望する高等学校の先生から直接説明を聞き、高等学校についてより具体的な情報を収集する。
- 保護者も一緒に参加し、説明を聞くことによって、生徒の進路選択について家庭で話し合うきっかけとする。

#### イ 概要

- ◇実施時期 10月
- ◇説明に来ていただく高等学校
  - ・県立高等学校 10校（専門学科の高等学校は科ごと）
  - ・私立高等学校 6校
- ◇内容等
  - ・各高等学校の先生が各教室に別れて高等学校の概要等について説明を行う。
  - ・生徒と保護者は希望する高等学校の教室に向いて説明を聞く。
  - ・生徒はあらかじめ提出した希望に従って参加する。
  - ・説明は3回(3時限)行い、一人3校までの説明を聞くことができる。
  - ・生徒と保護者が同じ高等学校の説明を聞かなくてもよい。
  - ・説明途中での入退室はしない。
- ◇当日の日程
 

|      |   |             |
|------|---|-------------|
| 第1時限 | … | 12:45～13:15 |
| 第2時限 | … | 13:25～13:55 |
| 第3時限 | … | 14:20～14:50 |

### 3 高等学校在学中の子どもをもつ保護者から情報を得る事例

#### (1) 取組の概要

卒業生の保護者を招き、「卒業生の保護者と語る会」を実施する。

#### (2) 「卒業生の保護者と語る会」について

##### ア. ねらい

- 本校卒業生の保護者を講師として、子どもの受験期の様子や現在の各高等学校での生活や学習の様子を聞き、進路選択に際しての親子の相談に役立たせる。
- 受験期の子どもをもつ親としての悩みや不安の解消を図る。

##### イ. 概要

◇実施時期 9月～10月

◇講師として招く保護者 20名程度

◇内容 第3学年の保護者を対象とし、卒業生の保護者が子どもの高等学校での生活や学習の様子を簡単に説明し、その後質疑応答を行う。

- ◇実施方法
- ・第3学年PTAが主催する。
  - ・県公立高等学校と私立高等学校、学年のバランス等を考慮して講師を依頼する。
  - ・卒業生の保護者には時間差で来校してもらい、40分を目安に語る会を2～3回行う。
  - ・卒業生の保護者は2～3名ずつ3教室に分かれて行う。
  - ・在校生の保護者は、説明を聞きたい講師の教室へ行って話を聞く。

◇当日の日程 18:40～21:00 を2～3回に分けて実施する。

### 4 高校生（卒業生）から情報を得る事例（その1 3年生対象）

#### (1) 取組の概要

高等学校に進学している卒業生を招き、3年生の在校生と「卒業生と語る会」を実施する。

#### (2) 「卒業生と語る会」について

##### ア. ねらい

- 高等学校に進学している先輩から高校生活についての生の情報を得る。
- 進路選択や受験勉強についての体験談を聞いて参考にするとともに、悩みや不安の解消を図る。

##### イ. 概要

◇実施時期 夏季休業中

◇講師として招く高校生 10名以内

◇内容 高校生から高校生活の様子や進路選択時における体験談を聞き、その後質疑応答を行う。

- ◇実施方法
- ・普通科と専門学科等、また学年のバランスを考慮して高校生に依頼する。
  - ・全体会の後、小グループに分かれ卒業生を囲んで話し合う。
  - ・全体会と小グループの話し合いの進行は生徒が行う。

◇当日の日程 ・全体会 9:00～9:50

(高校生の話 一人3～5分 質疑応答 10分)

・小グループでの話し合い 10:00～11:00

5 高校生（卒業生）から情報を得る事例（その2 1・2年生対象）

(1) 取組の概要

高等学校に進学している卒業生を招き、1、2年生の在校生と保護者に高校生活について体験談等を話してもらう。

(2) 「高校生からのメッセージ・今年度の入試を振り返って」について

ア ねらい

- 高等学校に進学している先輩から高校生活についての生の情報を得る。
- 進路選択や受験勉強についての体験談を聞いて、中学校3年生への進級を控えた2年生には、来年度への心構えを啓発するとともに悩みや不安の解消を図る。1年生には、今後の2年間の学校生活を計画的に送ることの重要性について知らせる。

イ 概要

◇実施時期 3月（3年生の卒業後）

◇対象 1、2年生の在校生と保護者の参加希望者

◇講師として招く高校生 県立高等学校普通科、商業科、工業科、総合学科等の卒業生

◇内容 第1部 【高校生からのメッセージ】

3月に高等学校を卒業した生徒を中学校に招き、高校生活を振り返って語ってもらう。3月のこの時期に設定することにより、高校生の授業を気にすることなく高校生を招聘できる。

話してもらう主な内容

- ・高等学校名とその学習内容
- ・高校生活の様子（学習・行事・部活動等）
- ・高校生活3年間で学び取ったこと
- ・中学校生活を振り返って
- ・中学校での進路選択・進路決定を振り返って
- ・中学校3年生を迎えるにあたってメッセージ

第2部 【今年度の入試を振り返って】

3年生の進路担当職員（進路指導主事）から、今年度の進路選択の様子、そして、進路決定までの取り組みを4月からの流れにそって伝える。入試後に行った『入試アンケート』から下級生に記したメッセージ（総合問題・学力検査、面接に関して）等も伝える。

◇実施方法

- ・進行は第2学年の進路担当職員が行う。
- ・高校生が内容を絞りやすくするため、事前に質問内容を伝え、当日は司会の職員が高校生に質問して、それぞれの高校生に順番に同じ質問に答えてもらう。



## 6 その他の情報収集の事例

- (1) 高等学校の教員による出前授業を実施する。(全学年の生徒対象)

概要：専門的知識をもつ高等学校の教員に教科や総合的な学習の時間に支援していただくことにより、将来への視野を広げることができる。

- (2) 体験入学に参加する。(第3学年の生徒対象)

概要：夏季休業中を中心に実施される。

専門学科では実習などが体験できるので、自分にその学科が合っているのかを肌で感じることができる。

- (3) 学校見学会や学校説明会に参加する。(第2・3学年の生徒、教員、保護者対象)

概要：7月頃から12月にかけて実施される。

その学校の教育方針や教育課程の内容、卒業生の進路状況の他、入試に関する具体的な情報を聞くことができる。

- (4) 文化祭の一般公開日に出かける。(全学年生徒、教員、保護者対象)

概要：実施時期は学校により異なる。

学校の雰囲気や高校生の様子を知ることができる。

- (5) 高校進学フェア等のイベントに出かける。(全学年生徒、保護者対象)

概要：7月頃から9月頃にかけて実施される。

複数の高等学校の集まる説明会で、情報を一度に集めることができる。

上記のような、様々な創意工夫によって、各学校において、積極的な情報収集を行い、生徒、保護者への提供に努めることが重要である。